

スイッチ付きテーブルタップの発煙に注意！

電気ヒーターを使用中に「(MY)ワイエム企画」と表示されたスイッチ付きの 4 ロテーブルタップの差込口から発煙したというテスト依頼が寄せられた。調査した結果、スイッチ部分に熱によると思われる変形や変色が見られた。また、事故同型品で事故時と同様に電気ヒーターを使用したところ、スイッチ部分が高温になり、変形を生じることが分かった。このような状態で使用を続けると大きな事故になるおそれがあるため情報提供する。

1. 事故事例

スイッチ付きの 4 ロテーブルタップで 1200W の電気ヒーターを使用中に差込口から発煙した。発煙時には電話機の子機と 1200W 電気ヒーターのみ使用しており、本体に表示された最大電力 1500W を越えていなかった。発煙後、4 つある差込口のうち 3 つが焦げ、スイッチの裏面付近もふくらみと焦げが生じた。

(事故発生年月：2007 年 1 月)

なお、PIO-NET(全国消費生活情報ネットワーク・システム)には、同じ商品と思われる事例は確認できない。

2. 事故品の概要

事故品の各差込口にはパイロットランプ付きのスイッチが付いており、過電流防止機能を有した商品であった(写真 1、表 1)。事故品のタップ、コード、プラグにはそれぞれ特定電気用品の PSE マークが表示されていた。なお、本体及びプラグには製造又は輸入事業者と思われる「(MY)ワイエム企画」の表示があった。

写真 1. 事故品の外観



表 1. 事故品の概要

定格電流	15A
定格電圧	125V
最大電力	合計 1500W まで
コンセント数	4 口
電源コードの長さ	2m
製造国	韓国
その他の表示	(MY)ワイエム企画 PSE JET

3. テスト結果

1) 発熱部の特定

事故品の外観からは差込口及びスイッチ付近、後面パネルに変形・変色が見られ(写真 1)、内部を見ると、4つあるスイッチのうち2つが熱による著しい変形・変色が見られたほか、残りの2つにも発熱した跡が見られた(写真 2)。

変形・変色したスイッチについて分解して内部を見ると、3つある端子の真中の端子付近で特に変形・変色が著しく(写真 3)、スイッチを ON⇔OFF する際、この端子の可動する接触面の大きさや密着度が十分でなかったことが原因で高温となり、周辺の樹脂から発煙したと考えられる(図 1)。

写真 2. 事故品の内部(スイッチ・差込口の裏側)

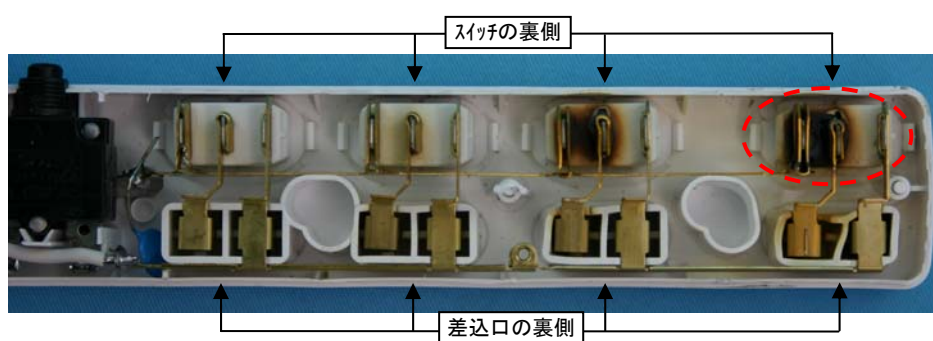


写真 3. 変形・変色したスイッチ(写真 2 の点線部分)

a) 裏面

b) 側面

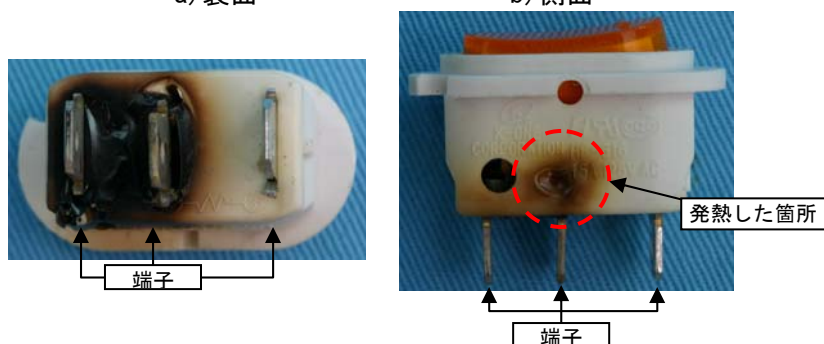
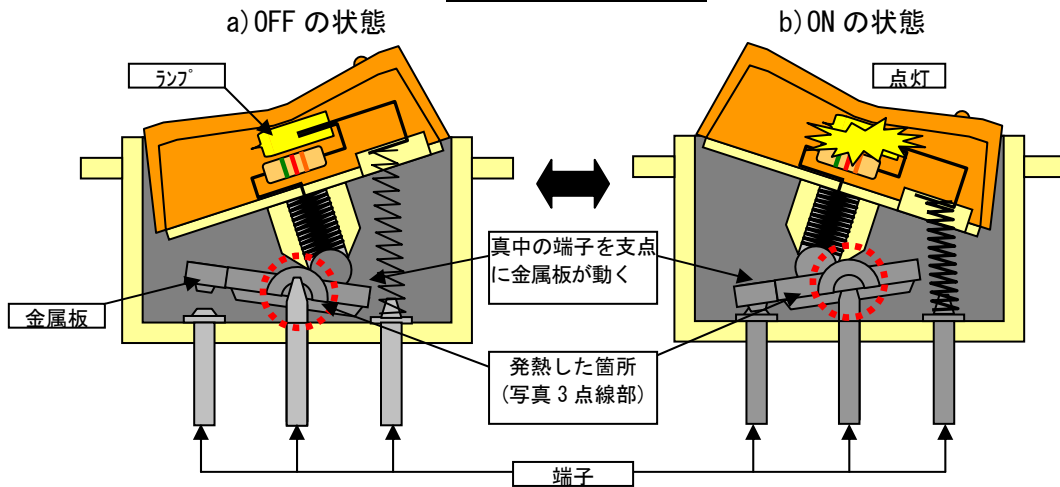


図 1. スイッチの構造



2) 再現テスト

事故同型品について、事故発生時に使用していたものと同型のヒーター(1200W)を接続し、赤外線熱画像装置を用いて各部の温度を測定したところ、スイッチ付近が約100℃まで上昇し(写真 4)、後面パネルが熱により変形した(写真 5)。なお、参考として、他社のテーブルタップについても同様の測定を行ったが、スイッチ付近の温度は約40℃であった。また、発熱した箇所を特定するため、本体からスイッチを取り出して温度測定を行ったところ、真中の端子で温度上昇が確認された(写真 6)。

写真 4. 各部の温度

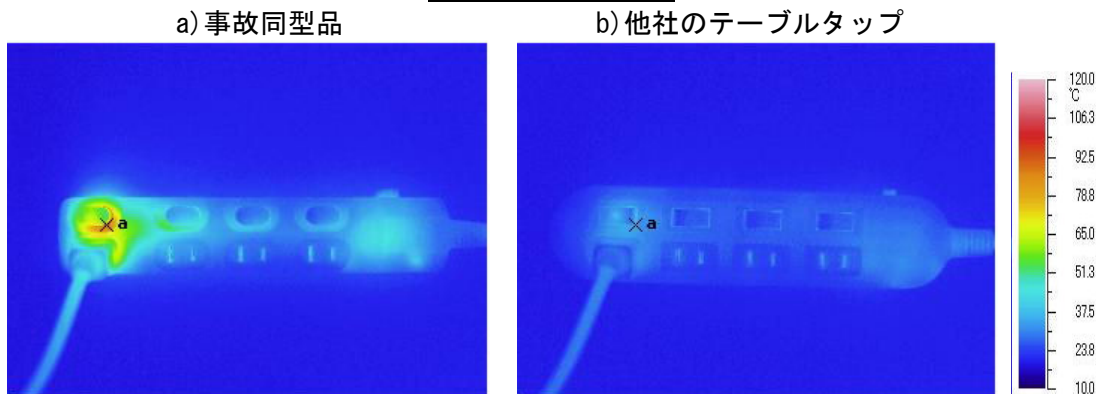


写真 5. 試験後変形した箇所

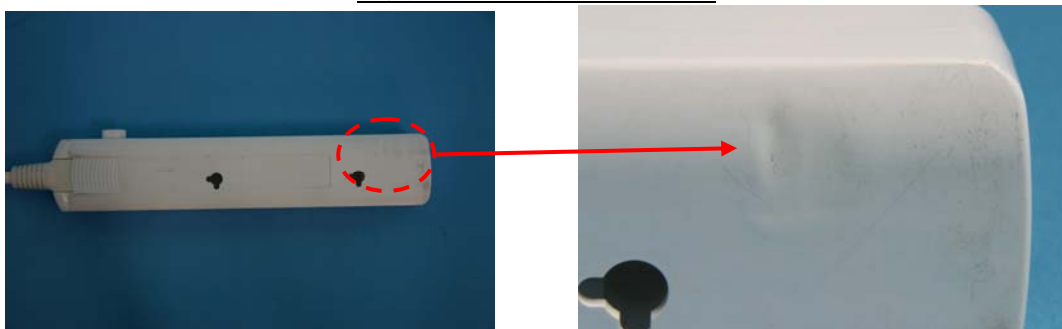
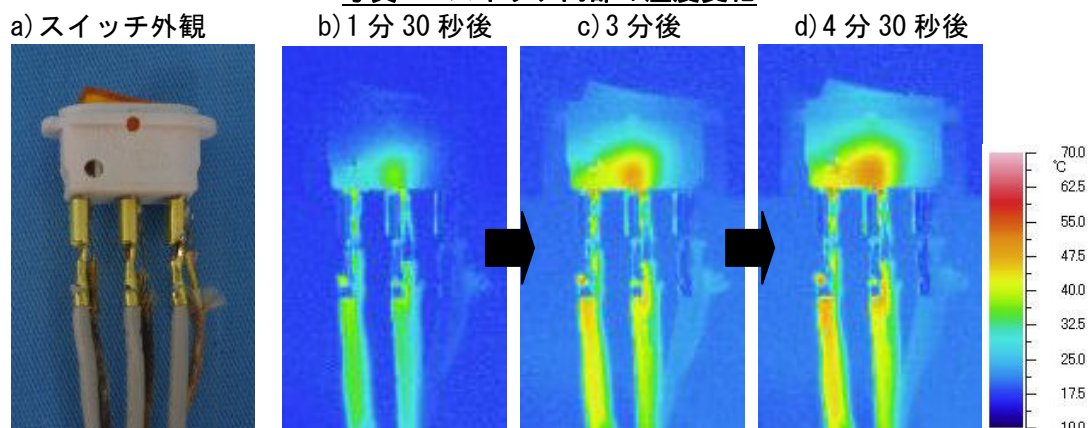


写真 6. スイッチ内部の温度変化



4. 問題点

- 1) 事故同型品に表示されている最大電力 1500W 内の電気ヒーター(1200W)を使用すると、事故同型品のスイッチ部の温度が上昇し、スイッチ付近の後面パネルが変形したことから、スイッチ部に問題があることがわかった。したがって、事故品の発煙は、電気ヒーター(1200W)の使用によりスイッチ部が高温となったことが原因と考えられる。
- 2) 電気用品の製造事業、輸入事業を行う場合は、必要事項を管轄の経済産業局等に届け出なければならない。また、テーブルタップは、特に危険又は障害の発生するおそれが多い「特定電気用品」に指定されており、製品本体にPSEマーク^{※1}の表示とともに製造事業者等の表示をしなければならない。しかし、事故品の輸入事業者である有限会社ワイエム企画は、事業届出を出しておらず、電気用品安全法に抵触していると思われる。

※1：電気用品安全法に従い製造又は輸入された「特定電気用品」(電線、ヒューズ、配線機器などの115品目)に表示されるマーク。

5. 消費者へのアドバイス

テストの結果、写真 7 に示す「(MY)ワイエム企画」と本体に表示されているスイッチ付きの4口テーブルタップで、消費電力の大きな器具を使用していると、発熱により変形や発煙のおそれがあるので、直ちに使用を中止すること。

写真7. 事故同型品の本体表示



6. 事業者の名称等

有限会社 ワイエム企画
東京都北区堀船1-30-2
TEL 03(3919)9779

7. 行政への要望

有限会社ワイエム企画は、今回のテーブルタップについて事業届出を出しておらず、電気用品安全法に抵触していると思われる。その他、事故状況を再現するテストを実施した結果、スイッチ付近の温度が約100℃まで上昇し、熱によるパネルの変形が確認されたことから適切な指導を要望する。

○要望先

経済産業省 商務情報政策局 製品安全課

○情報提供先

内閣府 国民生活局 消費者調整課
経済産業省 商務情報政策局 消費経済政策課
社団法人 日本配線器具工業会

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165

<title>スイッチ付きテーブルタップの発煙に注意！</title>